



小暮ひろし市議会報

政友みらい 小暮博志

〒327-0824 佐野市馬門町1597番地
TEL・FAX 0283-23-8263
E-mail kogurehi@sctv.jp
URL kogure-hiroshi.com

紙面

- ・東日本大震災から2年
- ・両毛六市議会議長議員研修会
- ・第3回広域消防組合消防庁舎建設委員会
- ・平成25年第1回消防組合会議(2月6日)
- ・平成25年第1回12月定例議会(2月22日~3月15日)
- ・お願い ・お礼

東日本大震災発生から2年(3月11日)

地震により発生した大津波、放射能により、今なお多くの方が避難生活をなされております。

佐野市にも20世帯、約200名の方が、全国では約31万人の方がおられるとの事です。

皆で、今後も一日も早い復興に協力して行きましょう。

両毛六市議会議長会議員研修会

1月28日、両毛六市議会議長会の主催による研修会が、佐野市で開催されました。

1. 演題：「地方議会の活性化」
2. 講師：元全国都道府県議会議長会 議事調査部長
地方議会研究会代表
野村 稔 氏

講演を聞き、私自身が気に止まった点を次に示します。

- 1 議会改革の必要性と進め方
 - ・会派内での政策論議を十分行う。
 - ・議員定数の減少は住民意思の反映の低下を招く。
- 2 本会議関係の改革
 - ・議会運営は住民にわかりやすいものに改める。
(一問一答、対面方式、朗読でない対話、質問短く答弁長く)
 - ・議員は民間人であるから、行政改革の具体策を提言する。
- 3 委員会関係の改革
 - ・議会は委員会中心であり、委員会での論議を充実する。
- 4 予算、決算の改革
 - ・予算編成前に議会の要望事項(政策)を長に提言する。
- 5 請願、陳情の改革
 - ・請願を採択したときは、実現させる努力をする。
 - ・特に不採択の場合、詳細な意見をつけ、請願(陳情)者に通知する。
- 6 住民との関係での改革
 - ・過去1年間の定例会、臨時会で議員や会派が提言した事項をまとめ、提出を求める。
 - ・議会単独による報告ではなく、執行機関と合同で行う。
- 7 議員の位置づけと処遇
 - ・議員の活動は専門化しており、他に職業を持つことは困難となっている。(議員報酬を地方歳費(生活費)に改める必要がある。)

第3回広域消防組合消防庁舎建設委員会

1月30日、第3回消防庁舎建設委員会が開催され、予算、今後のスケジュール等について話われました。

平成25年度に土地購入と設計、平成26年度に新庁舎建設、平成27年度完成となっています。

トータル予算は20億9,330万円、平成25年予算が4億2,080万円です。地上4階建てで、現在の消防庁舎の所に建設されます。

非常時のヘリコプターの着陸について質問したところ、着陸可能なように考えているとの事でした。

又、敷地には建築物用地のほか、大規模災害時における緊急消防援助隊の終結、活動拠点としての受援用地及び消防職・団員の消火人命救助訓練用地として確保。

平成25年第1回消防組合議会

2月6日、平成25年度の予算議会が開催され、予算案が決まりました。予算額19億8,300万円で、前年より4億700万円(26%)の増額となっております。この主な理由は、消防庁舎建設事業費の、設計委託料や土地購入費4億2,000万円が計上されたことによります。歳入は、市町村市町村分担金となっており、佐野市86%、岩舟町14%で分担します。

平成26年4月は、岩舟町と栃木市の合併の期日となっていますが、広域消防組合の分離に必要な予算、業務の移管はどうなっているのか質問しました。(小暮ひろし)
(答弁) 現在、検討中であり、補正予算で対処することでした。

平成25年第1回定例議会(2月22日~3月15日)

今回の定例議会では、議員提案2件、報告4件、議案42件が提出され、審議されました。特に、以下の内容について記述します。

- (1) 平成24年度予算特別委員会
- (2) 一般質問(質問者13名あり)

(1) 平成25年度予算特別委員会

平成25年度の一般会計、特別会計、企業会計予算は、下表の如くであります。一般会計の特徴として、新庁舎建設事業費、中小企業融資の拡大、新規の児童手当支給があります。

予算審査特別委員会が4日間開設され、議員27名のうち、一般会計に13人、特別・企業会計に10人が質問。

(小暮ひろしは両予算案を質問)

平成24年度予算との主な変化理由を、私なりに解説します。

〈一般会計〉

- ・普通建設事業費増は、新庁舎建設事業17億3,700万円が関係しています。
- ・その他の増は、消防組合の庁舎建設費4億円の増、中小企業融資預託金の7億7,100万円の増、新設された児童手当支給金繰出金2億9,700万円の増等の結果。

〈特別会計〉

- ・佐野田沼インター産業団地造成事業特別会計では、造成事業費が減ったために減額。

〈事業会計〉

- ・水道事業費の減額は、資本的支出である拡張事業費約3億円の減、企業債償還金約5億円の減による。
- 佐野市の全予算は、16億円(2.3%)増の693億円。

平成25年度 一般・特別会計予算歳出状況

	25年度	24年度予算費 (%)	対24年予算 増減額
一般会計 歳出(百万円)	46,370	107.3	3,140
人件費	8,406	98.4	△133
物件費	4,997	96.4	△185
扶助費	8,758	106.1	507
普通建設事業費	4,671	146.0	1,472
公債費	5,263	98.3	△89
その他	14,275	112.3	1,568
特別会計 歳出(百万円)	18,616	114.5	△760
国民健康保険(事業)	3,698	98.2	△66
国民健康保険(直営)	313	98.8	△3507
公共下水道	3,462	103.2	108
農業集落排水	165	98.9	△1
自家用有償バス	110	89.0	△11
介護保険(保険)	9,188	101.9	168
介護保険(介護)	55	94.1	△3
後期高齢者	1,145	99.1	△10
佐野田沼インター産業団地	480	33.8	△942
企業会計 歳出(百万円)	4,361	84.2	△814
水道事業	3,427	81.6	△770
病院事業	934	95.5	△44
合 計 歳出(百万円)	69,347	102.3	1,566



(2) 一般質問 (質問者13名)

*** 小暮ひろしの一般質問 ***

佐野市の平均寿命について

栃木県内の市町村、計26地域における平均寿命のランキングを見ますと、佐野市の男性は22位、女性は23位と短い順位でした。今回、肥満者の率、野菜摂取量、食塩摂取量、歩数、喫煙者、飲酒習慣者の6因子やがんの検診率等が、平均寿命に直接関係していると考えられたので、都道府県のデータで多変数解析を行いました。

佐野市の平均寿命を、栃木県の平均寿命まで約0.9歳伸ばすには、栃木県の各因子を約8%改善することが要という結果が出てきました。

平均寿命への影響としては、喫煙者の0.22歳がもっとも大きく、次に、食塩の0.19歳、野菜摂取量の0.16歳、歩数の0.15歳、肥満率の0.12歳、飲酒習慣者の0.08歳、肺がん検診の0.01歳でした。

今回の、この様な分析に対し、どの様な感想をお持ちか、お聞きしたいと思います。

(答弁) 今後、平均寿命と各因子の関係を調査してみる。

在宅介護について

今後、30年位までの間、65歳以上の人口は増加をし、20%位増加すると考えられます。施設整備の費用を減らすためにも、在宅介護を多くの人に行っていただくことが必要と思います。介護している仲間であうことにより、悩みも解消し、もっと楽に介護ができるように、家族の会に入るように積極的に進めることは出来ないでしょうか。

(答弁) 介護申請の時に、入会の勧めを考えたい。

お願い

今回、『小暮ひろし励ます会』の入会申し込み書をまだ出していない方は、入会をお願いします。

お礼

この議会報告も、年4回行われる定例議会後に毎回発行し、第16号となりました。小暮ひろし励ます会の皆様には、ご愛読有難うございました。

今後とも、引き続き発行を考えておりますので、宜しくお願い致します。

この度、『小暮ひろし励ます会』の代表、副代表を次の方にお願ひ致しました。

代 表 島田 昭三
副代表 大島八寿文
副代表 柿沼 肇